

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 ソーシャルワイヤー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3929 URL http://www.socialwire.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢田 峰之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 藤原 直美 TEL 03-5363-4880
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,437	—	178	—	165	—	114	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 95百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	48.60	41.12
27年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	1,904	765	39.5	289.00
27年3月期	1,436	389	26.2	162.60

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 752百万円 27年3月期 376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,913	20.7	207	90.8	200	81.2	140	103.6	58.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	2,604,600株	27年3月期	2,315,600株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	2,360,236株	27年3月期3Q	2,068,989株

(注) 当社は、平成27年8月14日開催の取締役会決議により、平成27年9月5日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景とした企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社グループは「クロスボーダー環境の創造」をテーマとし、足元の業績を成長させてまいりました。既存事業の拡大・売上高の最大化に注力し、いずれのセグメントにおいても堅調に推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,437,398千円となり、営業利益は178,130千円、経常利益は165,551千円、親会社株式に帰属する四半期純利益は114,701千円となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

(ニュースワイヤー事業)

ニュースワイヤー事業は、企業や官公庁・団体等に対して、製品やサービス、事業等に関するプレスリリース文書の校正や配信メディアの選定から、リリース配信、掲載結果の調査・報告を実施しております。

プレスリリース配信代行サービス「@Press」については配信数の増加（前年同期比23.5%増）、単価についてはほぼ横ばいで推移し、メディアクリッピングサービス「@クリッピング」については案件数が減少（前年同期比8.4%減）、単価については大幅増加いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は766,947千円となり、セグメント利益は237,822千円となりました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、アジア6ヶ国10拠点（新宿2拠点、六本木、青山、シンガポール、インドネシア2拠点（※1）、インド、ベトナム、フィリピン）でレンタルオフィス「CROSSCOOP」を運営しております。

国内拠点については新たに新宿拠点の増床を行うこと等により、供給席数の増加をいたしました。これにより既存の拠点及び増床の拠点の累積稼働席数が増加（前年同期末比40.9%増）し、海外拠点については既存拠点の累積稼働席数が増加（前年同期末比10.6%増）となりました。また、国内拠点及び海外拠点のいずれについても単価についてはほぼ横ばいで推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は670,451千円となり、セグメント利益は58,874千円となりました。

（※1）インドネシア2拠点はフランチャイズによる運営です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、467,906千円増加し、1,904,734千円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、91,390千円増加し、1,139,196千円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、376,516千円増加し、765,537千円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、建物が124,107千円、差入保証金が115,777千円、現金及び預金が203,722千円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、未払金が70,397千円、前受金が70,028千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、新規上場に伴う公募増資をしたことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ125,120千円、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,025千円増加すると共に、親会社株主に帰属する四半期純利益が114,701千円計上されたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年12月24日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	378,548	582,270
受取手形及び売掛金	123,449	134,601
その他	106,015	121,858
貸倒引当金	△4,252	△3,775
流動資産合計	603,760	834,955
固定資産		
有形固定資産		
建物	324,903	449,011
工具、器具及び備品	132,733	152,312
その他	8,065	10,061
減価償却累計額	△123,183	△169,577
有形固定資産合計	342,520	441,808
無形固定資産		
のれん	21,498	17,533
ソフトウェア	119,444	106,425
その他	32,501	76,343
無形固定資産合計	173,444	200,302
投資その他の資産		
差入保証金	237,380	353,158
その他	79,722	74,509
投資その他の資産合計	317,102	427,667
固定資産合計	833,067	1,069,779
資産合計	1,436,828	1,904,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	60,800	45,500
1年内返済予定の長期借入金	116,028	130,020
未払金	139,826	210,224
未払法人税等	37,672	24,334
前受金	181,193	251,222
その他	87,064	96,405
流動負債合計	622,584	757,706
固定負債		
社債	20,000	4,000
長期借入金	375,047	342,357
資産除去債務	25,176	31,160
その他	4,998	3,972
固定負債合計	425,221	381,490
負債合計	1,047,806	1,139,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	146,915	287,060
資本剰余金	88,915	229,060
利益剰余金	94,722	209,847
株主資本合計	330,552	725,967
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	45,961	26,759
その他の包括利益累計額合計	45,961	26,759
非支配株主持分	12,507	12,810
純資産合計	389,021	765,537
負債純資産合計	1,436,828	1,904,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,437,398
売上原価	647,239
売上総利益	790,158
販売費及び一般管理費	612,027
営業利益	178,130
営業外収益	
受取利息	1,372
為替差益	2,147
その他	2,581
営業外収益合計	6,101
営業外費用	
支払利息	6,725
支払手数料	2,400
株式交付費	8,824
その他	730
営業外費用合計	18,680
経常利益	165,551
税金等調整前四半期純利益	165,551
法人税、住民税及び事業税	45,754
法人税等調整額	3,891
法人税等合計	49,646
四半期純利益	115,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,203
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,701

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	115,904
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△20,102
その他の包括利益合計	△20,102
四半期包括利益	95,801
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	95,498
非支配株主に係る四半期包括利益	303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月5日及び平成27年12月25日を払込期日とする新株予約権行使により新株式119,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ15,025千円増加しております。また、平成27年12月24日付の東京証券取引所マザーズへの上場にあたり平成27年12月22日を払込期日とした、公募増資による払込を受け、新株式170,000株の発行を行い資本金及び資本準備金がそれぞれ125,120千円増加しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が287,060千円、資本剰余金が229,060千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	ニュースワイヤー 事業	インキュベーション 事業			
売上高	766,947	670,451	1,437,398	—	1,437,398
セグメント利益	237,822	58,874	296,697	△118,566	178,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,566千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。